

清暉



若くは秋の暮さるをたよりうら  
 桐一葉ふんぎり来よりと掃捨ま  
 清くはれもえせほくはる  
 宵折のえつ 好蝶や新及不  
 師とつ乃小庭梅さる瓦並ふも  
 美苑 香白 養里 友声 和月

秋の夜とあり南浦たり樹乃重  
 小亭まじく秋のいろもて麻のこも  
 杖つらいたる述まらる小月まら  
 鈴響るをほききとたたるぬき葉うた  
 鈴吹の響きひきき 寺れうら  
 嫁乃よりふりてきむき西川う南  
 踊子の尻つゝねろ花根かちり  
 沖をまきと風さる備りや梅の彼  
 山石 草良 志好 住子 小亭 四峯 昨菰 鹿例

恒一重といと廣中やとさのさ  
 葵乃ふいふまてとくやと都の秋  
 萩の戸やめつとふ人をとおす大  
 妻々をまり乃さるくあり萩の更  
 咲たさむ萩をくくくや村まき  
 猫鳴りあて吹くくやあさけ風  
 葉をを苦ふさあ乃くくくやさの月  
 上下をたらんくくくくや持扇子  
 ちほくむくくくくくくくくく  
 引ちせはくはの鳴きも引くく  
 日東や早やちやち 急の中川  
 ちの口ねはつてと 萩乃さる  
 末枯や木の乃ふさる山と海 米佛  
 荒くさふくくくくくくくくく  
 美苑 香白 養里 友声 和月